

令和3年度行政評価 施策評価シート (令和2年度実績)

施策名 地域で自分らしく暮らすための支援

施策コード 5040201

1. 施策の担当	
主管課	健康福祉部 地域共生推進課
関係課	介護保険課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支え合うまちづくり(支え合い・福祉・健康)	節 第2節 高齢者福祉
	施策	地域で自分らしく暮らすための支援	
基本方針			
<ul style="list-style-type: none"> ●住み慣れた地域で、社会に参加しつつ、自立した日常生活を営むことができるよう介護予防事業を推進します。 ●地域における包括的な相談・支援の体制充実を図ります。 			
現況と課題			
<ul style="list-style-type: none"> ●緊急通報装置については、緊急通報の受信や月1回の安否確認を行うことにより、ひとり暮らし等高齢者を支援しています。また、地域包括支援センターについては、地域の多様な関係機関・団体との連携を強化し、支援体制を構築していますが、複合多問題ケースへの対応が求められています。 ●介護予防事業として、ロコトレ教室などや、カラオケ機器を利用した音楽介護予防教室(泉佐野元気塾)を実施しています。 ●就労意欲のある高齢者に対して、シルバー人材センターを通じた就労支援や、ボランティア活動の促進に取り組んでいます。また、地域活動については、地域資源の情報発信、周知の必要があります。 			
施策目標			
対象(誰を、何を、どこを)			
高齢者			
意図(どのような状態にしたいのか)			
安否情報をはじめとする在宅生活支援や生活の場を確保することにより、地域で安心して暮らすことができるようにします。			

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	46.1						
重要度(偏差値)	59.9						

4. 施策にかかるコスト								
	単位	R元決算	R2決算					
コストの内訳	人件費	千円	30,512	29,945				
	事業費		240,363	286,431				
	フルコスト		270,875	316,376				
財源内訳	国庫支出金	千円	49,330	70,180				
	府支出金		26,701	36,616				
	市債		0	0				
	その他		42,323	41,263				
	一般財源1(=フルコスト-特定財源)		152,521	168,317				
	一般財源2(=直接事業費-特定財源)		122,009	138,372				

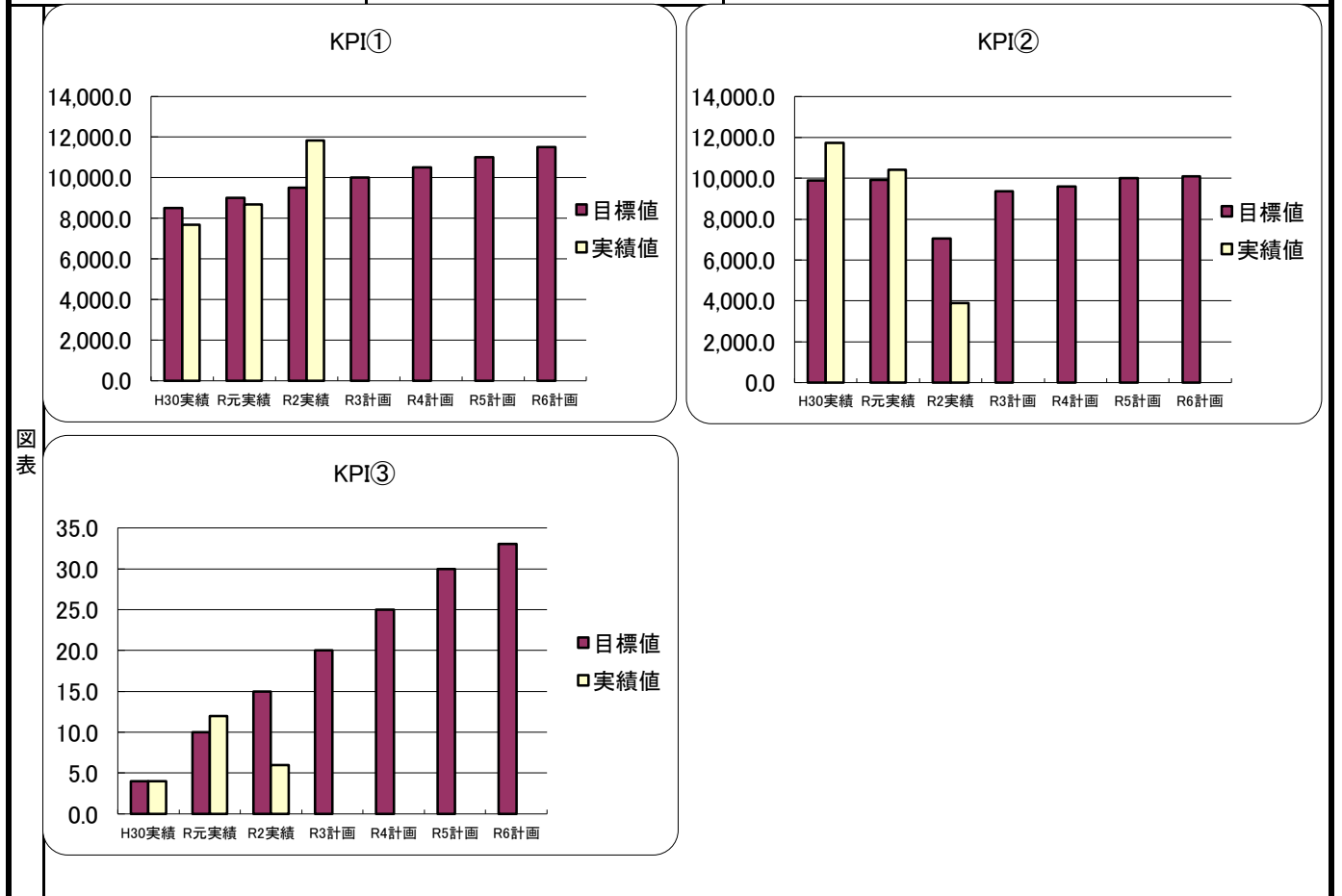
5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1 総合相談支援事業の件数							
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	8,500.0	9,000.0	9,500.0	10,000.0	10,500.0	11,000.0	11,500.0
実績値	7,692.0	8,677.0	11,840.0				
達成度	90.49	96.41	124.63				
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
地域包括支援センター等の相談窓口では、住民からのさまざまな相談に対応するが、その件数を把握することで介護・福祉・医療など必要な支援が継続的に提供されているか進捗状況がわかります。		第7期介護保険事業計画の中の数値を考慮し設定した。		高齢者数の増加とともに、在宅で介護サービスを受ける高齢者が増加している。			

② KPI 2		音楽介護予防教室（泉佐野元気塾）参加者数（延べ数）					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	9,890.0	9,910.0	7,050.0	9,350.0	9,600.0	10,000.0	10,100.0
実績値	11,746.0	10,412.0	3,897.0				
達成度	118.77	105.07	55.28				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
介護予防事業として実施しており、健康づくり（介護予防）に取り組む地域の拠点としての役割が大きい事業であるため、参加者数を把握することで、どれくらいの方への介護予防に貢献できているかの指標とする。	平成29年（2017年）に令和5年（2023年）10,000人の参加者数を目標値とし、毎年参加者数の伸び率を推計して目標値とした。	コロナ渦において参加者数が減少したため

③ KPI 3		ロコトレ教室参加者数					
項目	H30実績	R元実績	R2実績	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画
目標値	4.0	10.0	15.0	20.0	25.0	30.0	33.0
実績値	4.0	12.0	6.0				
達成度	100.0	120.0	40.0				

KPI設定の根拠	KPI目標数値の設定根拠	目標達成・未達成の理由・背景
運動機能向上プログラムを実施することにより、要介護状態になることの予防及び地域における自立した日常生活の支援を行うことを目的に実施している事業であるため、参加者数を把握することで、どれくらいの方への介護予防に貢献できているかの指標とする。	平成30年（2018年）後半に事業開始し、令和5年（2023年）30人の参加者数を目標値とし、毎年参加者数の伸び率を推計して目標値とした。	コロナ渦において参加者数が減少したため



6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 1	福祉サービスを必要とする市民が多く利用している。包括的支援事業の相談延べ人数は増加している。(R1:8,677件→R2:11,840件) 介護予防事業等は、コロナ禍により休止期間があり、参加者数が大幅に減少した。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	市民アンケートでは満足度は低い、重要度は高いことから、ニーズが高い施策であると考えられます。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	高齢化社会の進化に伴い、団塊の世代(約800万人)が75歳以上となる2025年以降は国民の医療や介護の需要が、さらに増加が見込まれているため、厚生労働省においては、2025年をめぐり、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制(地域包括ケアシステム)の構築を推進している。
	合計点	(10点中) 6点	
	総合評価	C	高齢者が要介護状態等となることを予防し、住み慣れた地域で自立した生活を営めるように地域での支え合い事業の推進や相談体制の充実を図り、地域において安心して日常生活を営むことができる環境づくりを今後も推進してまいります。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)	C	引き続き目標値の達成に努めること。	
三次評価(理事者による評価)	C	引き続き目標値の達成に努めること。	

7. 施策を構成する事務事業							
	予算コード	事務事業名	R2年度決算額			R3年度予算	一次評価
			人件費	事業費	一般財源		
1	01016100	老人保護措置事業	779	18	17	0	B
2	01016400	日常生活用具等助成事業	4,207	2,808	2,667	0	B
3	01016900	老人福祉農園事業	834	285	285	0	B
4	01017200	シルバー人材センター育成事業	623	36,216	16,216	0	B
5	01017400	金婚を祝う会実施事業	77	0	0	0	B
6	01017500	ひとり暮らしの高齢者交流会実施事業	701	1,797	1,797	0	B
7	01017600	長寿者祝賀事業	1,290	998	998	0	B
8	01017900	生活支援ハウス(高齢者生活福祉センター)事業	1,012	2,624	1,870	0	B
9	01022450	社会福祉センター管理運営事業	2,103	25,118	21,622	0	B
10	01022800	高齢者の生きがいと健康づくり事業	233	3,492	1,964	0	B
11	01083289	高齢者入浴利用料助成事業	233	6,123	0	0	B
12	06090271	包括的支援事業	1,714	92,909	39,254	0	A
13	06090272	高齢者自立支援(高齢介護課)事業	5,804	28,780	12,149	0	B
14	06090610	一般介護予防事業	2,700	50,425	24,810	0	B
15	06090620	在宅医療・介護連携推進事業	2,960	2,291	970	0	A
16	06090630	生活支援体制整備事業	779	31,320	13,234	0	A
17	06090640	認知症総合支援事業	3,896	1,227	519	0	B
合計			29,945	286,431	138,372	0	